

# 調査報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日 調査実施の時間	平成 21年 5月 22日 開始 10時 30分 ~ 終了 15時 30分
訪問先事業所名 (都道府県)	かがやきホーム新湯野 ( 広島県 )
評価調査員の氏名	氏名 岡田 清子 氏名 平岡 朋加
事業所側対応者	職名 ホーム長 氏名 安原 富紀枝 ヒアリングを行った職員数 ( 2 )人

### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

グループホーム [ **かがやきホーム新湯野** ] 1, **調査報告概要表**

【評価実施概要】

事業所番号	3474400375
法人名	有限会社かがやき
事業所名	かがやきホーム新湯野
所在地	広島県福山市神辺町大字新湯野19番地1 (電話) 084-963-6555
評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	福山市三吉町南一丁目11-31-201
訪問調査日	平成 21 年 5 月 22 日

【情報提供票より】(21年 5月 9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 1 月 12 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	10 人
利用定員数計	18 人
常勤	6 人
非常勤	4 人
常勤換算	7.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦 造り
	1 階建ての 1 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48000 円	その他の経費(月額)	無	実費	円
敷金	有( 円)				
保証金の有無 (八百万円未満)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	無		有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円	
	夕食	300 円	おやつ	2回で200 円	
	または1日当たり 円				

(4) 利用者の概要( 5 月 9 日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	63 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	福山市民病院付属神辺診療所・亀川病院・夏目さとう歯科
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】 作成日 平成21年 5月22日

天然の木造や土壁を使用した吹き抜けの天窓のある和風造りの平屋建てで落ち着いた雰囲気の中で生活している。玄関には円形の中にホーム名があり、ぬくもりと穏やかさが印象的である。住宅地としての利便性も良く緑も多く環境に恵まれている。各居室にはそれぞれ自動トイレや洗面所が設置されており、明るく清潔で快適に過せる空間となっている。また一人ひとりの自尊心やプライドを傷つけないように尊厳を守り、理念に基づいて運営者・ホーム長・管理者・職員は共有した取り組みを行っている。地域の中でボランティアや見守り隊など地域住民とともに活躍し協力体制も得られている。又医療面も整い安心できる事業所となっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回外部評価の改善課題については真摯に受け止め、ミーティングで積極的に話し合い改善に向けた取り組みが行われている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を実施する意義は全員理解している。ミーティング等でも話し合い評価を活かしたケアに取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回開催されている。市町村担当者・民生委員・地域の代表・利用者の家族・包括支援センター・ホーム職員等が参加して、日常の取り組み状況を報告したり、意見を聞き連携を密に行いサービスの質の向上に活かし日々取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	訪問時や電話での連絡時に家族から話を聞いている。またかがやき便りを送付する際にも、意見・要望・苦情を聞き取れるよう項目を作り、運営に反映させる取り組みを行っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域の行事に参加したり、ホームへの訪問受け入れも行われている。散歩時には周辺道路の缶拾いをして美化にも努めている。また地域の人々から野菜を頂いたり、見守り隊に参加する等、地域に溶け込んだ交流が行われている。

## 2. 調査報告書

(   部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念として、利用者の人権の尊重・安心した家庭生活・生きがいを持った生活の支援が掲げられている。また地域においては奉仕活動を重視する理念での取り組みが行われている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝職員は利用者とともに唱和し、理念を共有しており、安心して過せるよう実践に向け日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入している。地域の保育園との交流や、奉仕活動、散歩時のごみ拾いなどを通じて地域の人々と交流を行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を実施する意義は理解している。自己評価は職員と共有し、外部評価の結果は、ミーティングで話し合い具体的な改善に取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回、市町村の担当者・民生委員・地域の代表・利用者の家族・職員等が参加し開催されている。ホームの状況報告や評価の結果及び議題について検討し、出された意見はサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	かけはしの利用や市町村の担当者、包括支援センターなどと連携を密にして相談や依頼等でアドバイスを受けサービスの質の向上に役立っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	訪問時や毎月1回のホーム便りに写真を載せ、暮らしぶりや健康状態及び金銭管理も個々に合わせた報告を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や訪問時に家族から蜜に意見、不満、苦情など聞く機会を設けている。要望などは運営に反映させている。。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動はほとんど無いが、利用者が不安にならないように、散歩やレクリエーションなど職員も交えたユニット間の交流を行い、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外での研修を受ける機会は随時確保されている。参加者はミーティングで報告し内容の共有を図っている。あしたばでの研修などケアの向上に努めるよう研修参加を勧めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と交流する機会を持てるよう努めているが、交流には至っていない。		同業者の受け入れ体制は出来ている。運営推進会議や市町村の担当者などに働きかけ交流を通じてサービスの向上に活かされるよう期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族等には利用前に2～3回見学を行ってもらい。ホームの様子やレクリエーションなどを一緒にしながら、本人の意向を聞いて納得したうえで、家族等と相談しながら徐々に馴染めるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事準備や献立・掃除・野菜作り・レクリエーション等一緒に考えて行動している。教わることで多いということと共に学び支え合う関係を築いている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人や家族等に今までの暮らしぶりや要望などを聞き、意向の把握に努めている。困難な場合は利用者の生活歴や顔の表情などから把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者一人ひとりについてミーティングでケアのあり方等意見交換し、本人や家族等にも意見を聞きながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとの見直しを行っている。職員でミーティングを行い利用者に変化が生じたときは、その都度、本人・家族・職員・医師等で話し合い新たな介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族等の要望に応じ、病院への受診やお墓参りや法要等の送迎など柔軟な対応での外出支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族等の要望に沿って、かかりつけ医への定期的な受診が職員の同行のうえ行われている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用前に本人や家族等と話し合いを行っているが、機会あるごとに話し合っている。早い段階からかかりつけ医や本人や家族等と話し合いを持ち、全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの尊厳を守り、プライドを傷つけない言葉かけや対応をしている。記録等の個人情報の取り扱いについては徹底している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活歴や本人や家族等に希望を聞きながら、一人ひとりのペースを大切に支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜を使っての好みの献立で、一人ひとりに合わせた食事となっている。職員も一緒に食事をし、食後も30分程ゆったりと過ごしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日・時間帯を決めているが、毎日でも入浴することができる。一人ひとりの希望に沿い、タイミングを見て支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	月1回の押し花教室や野菜づくり・カラオケなど、楽しみ事や気晴らしの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日中定期的に散歩を行っている。また利用者の要望により買い物やドライブなどの外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中鍵をかけないケアに取り組んでいる。入浴支援時は安全のために内戸に鍵をかけるが、家族や利用者の了解をとって行っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者と職員は定期的に消火活動や避難訓練を行っている。民生委員や地域の人々の協力が得られているが、夜間時の対応に不安が残る。		夜間時や緊急時のマニュアルは作成されているが、職員が安心して対応できるような取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養面を考慮した献立と食材・量ともに工夫している。食事・水分摂取量は記録され把握できている。一日の水分1300ccを目標に確保できるように支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日本家屋のぬくもりある吹き抜けのガラス瓦の天窓や居室に自然の光が入り明るい。和室には掘りごたつがあり、各居室にはトイレが設置しておりプライバシーは守られており、居心地良く過ごせるよう工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの物や思い出の品・お位牌等も持ち込まれている。きれいに整理され居心地良く過ごせる。		



# 介護サービス自己評価基準

## 認知症対応型共同生活介護

事業所名   グループホーム   かがやきホーム新湯野(木ユニット)

評価年月日   2009年 5月 22日

記入年月日   2009年 6月 9日

記入者   ホーム長   氏名   安原 富紀枝

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
<input type="checkbox"/>	地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の行事経の参加や散歩時のゴミ拾い等の奉仕活動を行っている。		
<input type="checkbox"/>	理念の共有と日々の取り組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝出勤者が揃った時理念を読み、安心して家庭的な生活が出来る様日々取り組んでいる。		
<input type="checkbox"/>	家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関のホールに理念を掲げ、其の都度ホームの理念をお伝えし、理解して頂ける様にしている。		
2. 地域との支えあい				
<input type="checkbox"/>	隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームの行事に参加して頂いたり、散歩時や日光浴時、洗濯干し等で見かけたら挨拶をしたり、自家栽培を持参して下さる等近所付き合いをしている。		
<input type="checkbox"/>	地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	行事等に参加、ホームへの訪問等で顔なじみになり、交流が来ている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者の悩みの相談を受けた時にはホームの領域の中でどんな事が手助け出来るか話し合っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	実施する事で、ケアサービスの意義を理解し、改善すべきところは積極的に改善する様に話し合っている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の取り組み状況を報告し、話し合った内容、意見をサービス向上に活かしている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事例等がある時には、事例集や解決方法等のアドバイスをお願いし、サービスの向上に取り組んでいる。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や青年後見人制度を利用されている入居者の方が居られるので学ばせて頂いたり、連携を保ち活用している。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	人権を重視する為に虐待をしない、させないを目標にし、職員同士自覚し、防止に努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書や契約書の内容を説明し、不安、疑問点が無いかを尋ね、不安を抱かれない様にしている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時利用者のご家族を交えて話し合っているが、現時点では苦情等が無いので有り難いです。今後不満等の訴えがあれば真摯に受け止め改善に努めていこうと思います。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に報告したり、毎月かがやき便りに写真を載せて健康状態や暮らしぶりを報告して居る。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現時点ではご家族からの苦情等が無いので有り難いです。重要事項説明書に公的な苦情窓口を記載しているし、かがやき便りにも玄関に苦情箱を設置してご意見を頂く様明記している。今後苦情等があれば真摯に受け止め改善に努めていこうと思います。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>意見箱を設置して居るし、何時でも聞ける体制を作り、またミーティングで意見や提案をして貰い、働き易い職場作りになる様に努めている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の勤務希望を重視した勤務表を作り、働き易い勤務調整に努めている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者に不安を持たせない様、極力異動をしない様に気配りしている。異動してもダメージを最小限度に防げる様に日常ユニットの利用者と職員との交流をしている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には随時参加させ、事業所内でもケアの向上に向けて育成に努めている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流する機会を持ちたいが、個人情報があると取組みが難しい。	○	ホームの受け入れは出来ているが、同業者の受け入れが困難。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ビヤホール、忘年会、食事を設けストレス軽減に努めている。運営者は職員の悩み等を話せる場を設けている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己目標を写真と一緒に掲示し、各自が向上心を持って働ける様努めている。		
<b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所時にはホームを見学して頂き、本人が困っている事や不安に思っている事を傾聴し、入所してからも不安な事等をしっかりと受け止める努力をしている。		
一人ひとりの自尊心やプライドを傷つけないように、どんな状態になられても人としての尊厳を守り、触れ合いを大事にし不安なく笑顔が出るようなケアを心掛けている。建物は木造土壁の吹く抜け天窓のある平屋建てで、落ち着いた雰囲気の中で生活でき、各居室にトイレと洗面所を設置しているので時間を決めて居室のトイレでの排泄を促し、他の入居者の目に触れることなくいつも清潔で快適に過ごして頂けるように心掛けている。				

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族と利用者の希望をお聞きし、希望に沿ったサービス提供する様に努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家での生活の様子を聞き、家でされていた様にして頂き、ホームや職員、他の利用者に慣れて頂ける様、ご家族と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に台所、洗濯干し、洗濯畳み、掃除等の出来るお手伝いや、本の読み聞かせや紙芝居をしたり、若かった時代の思い出話や諺遊び、しりとり等をして共に笑ったり考えたる事で色々な事を学んでいる。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	何時でも気軽に会いに来て頂ける様に、また悩みや要望を気軽に言える雰囲気作りに心掛けている。ホームの行事やお誕生日には参加して頂き、一緒に会食やレクリエーションをする機会を多く計画している。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時間を決めないで何時でも来て頂ける様、また外出外泊も自由にして頂き、ご家族との時間を大切に思い支援している。行事にも参加して頂く様案内している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚、友人等の面会にも気軽にきて頂ける雰囲気作りを心掛けている。行事等にも一緒に参加して頂ける様ご家族にお願いしている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションやゲームを通して、出来ない所をお互いに助け合い、支え合える様努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病状悪化で入院や家に帰られ退所されても、面会や訪問をしたりして随時連絡を取っている。亡くなられても案内があり、通夜や葬儀に参列させて頂いている。その後もご家族がお礼の訪問に来て下さる。		
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1．一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活歴を知り、どんな暮らし方をしたいかを把握する様にしている。意思表示の困難な場合はご家族に尋ね本人の意に沿える様努めている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族に生活歴、趣味等をお聞きして把握している。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝のバイタルチェックをし、体調に合った生活ができる様一人ひとりの心身状態や活動量を把握する様にしている。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ホームの生活状態を下に本人やご家族等にお聞きして、日々本人らしく生活をして頂く為の介護計画を作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヵ月ごとに見直しをしている。利用者に心身の変化が見られた時は其の都度本人やご家族、職員等と話し合い新たな計画を作成している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の個別記録に記入したのを下に、職員同士気づき等の情報を共有し、収集してより良い介護が出来る様介護計画の見直しに活かしている。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族に負担をかけない様にホームで受診に行っている。行事等で外出、外泊をされる時にはご家族と利用者の希望をお聞きし、送迎等希望に沿ったサービス提供する様支援している。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事には民生委員さんに声掛けして、ボランティアの要請等の協力をお願いしている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	紹介して下さった居宅介護支援センターや地域連携室、地域包括支援センター他の施設等と連絡を取り合って支援している。	○	現時点では本人、ご家族の意向や必要性が無いので、他のサービスを利用していない。今後意向や必要性があれば利用する為の支援を行いたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性に応じて、地域包括支援センターに相談しアドバイスを頂いている。二ヶ月に一回の運営委員会にも参加して頂き、協力体制を図っている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族がかかりつけ医に受診を希望されるなら、継続して受診して頂くし、ホームの協力病院を希望されるなら紹介状を書いて頂き転移できる様支援している。本人ご家族の希望に沿って代表と看護師で受診の支援をしている。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ主治医に専門医の紹介をして頂き、状態に合わせた治療が受けられる様支援している。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員が日常の健康管理をしている。また協力医院の看護師にも気軽に相談でき、多様面で支援が出来る。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時は度々面会に行き不安の軽減に努め、主治医や看護師に容態を聞いて状態の把握をし、ご家族と相談をしながら早期退院が出来る様に努めている。医療連携室とも情報交換をして頂ける様日頃から多様面で情報交換をしている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時にご家族に重度化し場合の同意書を頂いている。終末期のあり方は機会あるごとに話し合い、早い段階からかかりつけ医とご家族、ホームとで話し合い、不安なく受け入れられる様全員で共有している。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の症状をご家族に伝え、かかりつけ医の支持の下、ホームで出来る事と出来ない事の見極めをご家族にも知って頂き、連絡を密にし、決め細やかに症状、バイタルチェックを記録して、変化にいち早く対応出来る様取り組んでいる。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人とご家族に状況をお話し、移られてもホームとの情報交換や度々の訪問、面会を行い、不安無く早く慣れて頂く為の協力を努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1．その人らしい暮らしの支援			
( 1 ) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	一人ひとりのプライバシーやプライドを損ねる様な言葉使いには気をつけ、個人を尊重した記録や対応に心がけている。	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	日々の会話の中で思いや希望を言える雰囲気作りに心掛けている。また本人の表情で察知出来る様に信頼関係も作り。我慢しないで納得しながら暮らせる様支援している。	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	一人ひとりのペースを大切にし、押し付けでなく、本人のしたい事、出来る事を選択出来る様配慮している。	
( 2 ) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	定期的に理容、美容院に行く人もいるが、希望しない人はホーム内で定期的にホーム長がカットしている。	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	季節の食材を使用し、利用者の好みを聞いて献立を立てている。盛り付けや味付け、食器洗い等を一緒にしている。	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	飲み物やおやつ等好みを取り入れ、体調や嚥下状態を把握し、楽しみながら食べれる様支援している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	各居室にトイレがあるので、排泄は各自のトイレに誘導している。一人ひとりの排泄チェック表基に排泄間隔やサインを見逃さない様トイレ誘導を行っている。		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	週三回の入浴日は決めているが、希望に応じ毎日入浴している人もいる。時間帯は決めているが、一人ひとりの希望やタイミングを見て楽しく入浴出来る様支援をしている。体力の無い人はご家族と相談して週二回にしている。		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	一人ひとりの体調、状況に応じて休息して貰っている。		
うたの				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	歌の好きな人にはカセットを聞いて頂いたり、カラオケを準備したり、読書の好きな方には他の利用者に本の読み聞かせや紙芝居を読んで頂いたり、家事が好きな人にはお手伝いをして頂き、一人ひとりが生き生きと楽しみながら生活が出来る様支援している。		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金を所持している方が居られるが、ほとんどの方が管理する事が難しい。一緒に買い物に行った時は支払って頂いている。		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	週に何回となくドライブに行ったり、暖かい日には散歩や買い物に出かけている。		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	ご家族や職員の協力でお花見や遊園地、絵画等の展示会に出かける機会を作っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族に電話を掛けたり、手紙のやり取りの出来る様支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間を決めないで何時でも気軽に訪問して頂ける様にしている。訪問時には一緒に食事やおやつを食べて頂いたり、レクリエーションにも参加して時間が有る限りゆっくりと過ごして頂いている。		
( 4 ) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体的拘束の苦痛禁止を理解しており、身体的拘束はしないケアに取り組んでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけていない。入浴時間帯は入浴を二人体制でしているので手薄の為、ご家族の了解を得、時には内戸に鍵をかける事がある。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はほとんどの利用者がリビングで過ごされている。徘徊の人は目配りを怠らず所在を確認しながら自由に歩いて頂いている。夜間は二時間おきの見回りの他、必要に応じてバイタルチェックをしたり、わずかな音にも対応する様にしている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な危険物は、目に触れない棚や収納箱等に保管し危険を防いでいる。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	機会あるごとにシュミレーションを行い、一人ひとりの状態に合わせた対応が出来る様に取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師の指導の下、訓練を定期的に行っている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の人、職員、利用者と一緒に避難訓練を行い、地域の人々の協力をお願いしている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	常に身体状態をご家族に知って頂いており、一緒に本人に良い方法を考えて頂き、リスクを共有している。		
( 5 ) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックをし、一人ひとりの体調を常に気配りし、体調の変化があった場合は速やかに報告し、状態を見極め早期の受診に努めている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別記録帳に処方箋をつけているので理解している。薬が変わった時は連絡帳に書き、特に症状の変化に注意する様確認を取り合っている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事には食物繊維やきのこ類、海藻類等を取り入れ、水分摂取にも気をつけて便秘予防に努めている。また毎朝のラジオ体操や一日の目標を決め歩行をして頂いている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養面を考え献立をたて、食事、水分摂取チェック表をつけて一人ひとりの状態に合わせて量や食材に気を配り、一日の摂取量を把握している。水分も一日1300ccの摂取を目標に支援している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防の研修会に参加したり、職員、利用者共に予防接種をしている。手洗い消毒やうがい、衣服類のハイター消毒、毎週布団干し、二週間毎のマット干し等をしている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、食器等は食器乾燥機を使用し、毎日まな板や布巾も消毒している。冷蔵庫は週一回掃除をし、食材の期限切れ等を確認している。毎日の買い物により新鮮な食材を使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 土 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには季節ごとの花等を植えている。玄関ホールには手作りの作品や生け花で親しみやすい雰囲気を作っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	吹き抜けの天井に天窗があり、廊下や居室にはガラス瓦を使って自然の光が入ってくる様にしている。リビングには色とりどりの観葉植物があり、心を和ませている。廊下から広々としたウッドデッキに出て日光浴、談話している。各居室毎にトイレがあり安心できる。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づ くり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ウッドデッキにベンチや椅子を置き、日光浴や談話、歩行をしている。和室には掘りごたつがあり思い思いの場所で過ごされている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの物や本人の作品、思い出の品、テレビ等を置かれ、居心地よく過ごされている。ご主人のお位牌を置かれている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	建物が木造土壁で出来ているので嫌な臭いがない。各居室、トイレ、リビング等24時間換気システムが自動的に作動している。エヤコンの温度調節もこまめに行っている。		
( 2 ) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、共有トイレ、居室、居室トイレすべてに手すりをつけ、安全に生活出来る様工夫している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	押し付けでなく、一人ひとりのわかる力を引き出せる場面を作っている。、		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ウッドデッキにベンチや椅子を置き、日光浴や談話をしたり、ボール遊び、歩行をしている。駐車場にはフェンスがありボール遊べをしている。		

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一人ひとりの自尊心やプライドを傷つけないように、どんな状態になられても人としての尊厳を守り、触れ合いを大事にし不安なく笑顔が出るようなケアを心掛けている。建物は木造土壁の吹く抜け天窓のある平屋建てで、落ち着いた雰囲気の中で生活でき、各居室にトイレと洗面所を設置しているので時間を決めて居室のトイレでの排泄を促し、他の入居者の目に触れることなくいつも清潔で快適に過ごして頂けるように心掛けている。

# 介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム かがやきホーム新湯野(花ユニット)

評価年月日 2009年 5月 22日

記入年月日 2009年 6月 9日

記入者 ホーム長 氏名 安原 富紀枝

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
<input type="checkbox"/>	地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の行事経の参加や散歩時のゴミ拾い等の奉仕活動を行っている。		
<input type="checkbox"/>	理念の共有と日々の取り組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝出勤者が揃った時理念を読み、安心して家庭的な生活が出来る様日々取り組んでいる。		
<input type="checkbox"/>	家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関のホールに理念を掲げ、其の都度ホームの理念をお伝えし、理解して頂ける様にしている。		
2. 地域との支えあい				
<input type="checkbox"/>	隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームの行事に参加して頂いたり、散歩時や日光浴時、洗濯干し等で見かけたら挨拶をしたり、自家栽培を持参して下さる等近所付き合いをしている。		
<input type="checkbox"/>	地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	行事等に参加、ホームへの訪問等で顔なじみになり、交流が来ている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者の悩みの相談を受けた時にはホームの領域の中でどんな事が手助け出来るか話し合っている。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>実施する事で、ケアサービスの意義を理解し、改善すべきところは積極的に改善する様に話し合っている。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>日々の取り組み状況を報告し、話し合った内容、意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事例等がある時には、事例集や解決方法等のアドバイスをお願いし、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業や青年後見人制度を利用されている入居者の方が居られるので学ばせて頂いたり、連携を保ち活用している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>人権を重視する為に虐待をしない、させないを目標にし、職員同士自覚し、防止に努めている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書や契約書の内容を説明し、不安、疑問点が無いかを尋ね、不安を抱かれない様にしている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時利用者のご家族を交えて話し合っているが、現時点では苦情等が無いので有り難いです。今後不満等の訴えがあれば真摯に受け止め改善に努めていこうと思います。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に報告したり、毎月かがやき便りに写真を載せて健康状態や暮らしぶりを報告して居る。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現時点ではご家族からの苦情等が無いので有り難いです。重要事項説明書に公的な苦情窓口を記載しているし、かがやき便りにも玄関に苦情箱を設置してご意見を頂く様明記している。今後苦情等があれば真摯に受け止め改善に努めていこうと思います。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>意見箱を設置して居るし、何時でも聞ける体制を作り、またミーティングで意見や提案をして貰い、働き易い職場作りになる様に努めている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の勤務希望を重視した勤務表を作り、働き易い勤務調整に努めている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者に不安を持たせない様、極力異動をしない様に気配りしている。異動してもダメージを最小限度に防げる様に日常ユニットの利用者と職員との交流をしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には随時参加させ、事業所内でもケアの向上に向けて育成に努めている。	
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流する機会を持ちたいが、個人情報があるとされると取り組みが難しい。	○ ホームの受け入れは出来ているが、同業者の受け入れが困難。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ビヤホール、忘年会、食事を設けストレス軽減に努めている。運営者は職員の悩み等を話せる場を設けている。	
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己目標を写真と一緒に掲示し、各自が向上心を持って働ける様努めている。	
<b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所時にはホームを見学して頂き、本人が困っている事や不安に思っている事を傾聴し、入所してからも不安な事等をしっかりと受け止める努力をしている。	
一人ひとりの自尊心やプライドを傷つけないように、どんな状態になられても人としての尊厳を守り、触れ合いを大事にし不安なく笑顔が出るようなケアを心掛けている。建物は木造土壁の吹く抜け天窓のある平屋建てで、落ち着いた雰囲気の中で生活でき、各居室にトイレと洗面所を設置しているので時間を決めて居室のトイレでの排泄を促し、他の入居者の目に触れることなくいつも清潔で快適に過ごして頂けるように心掛けている。			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族と利用者の希望をお聞きし、希望に沿ったサービス提供する様に努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家での生活の様子を聞き、家でされていた様にして頂き、ホームや職員、他の利用者に慣れて頂ける様、ご家族と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に台所、洗濯干し、洗濯畳み、掃除等の出来るお手伝いや、本の読み聞かせや紙芝居をしたり、若かった時代の思い出話や諺遊び、しりとり等をして共に笑ったり考えたる事で色々な事を学んでいる。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	何時でも気軽に会いに来て頂ける様に、また悩みや要望を気軽に言える雰囲気作りに心掛けている。ホームの行事やお誕生日には参加して頂き、一緒に会食やレクリエーションをする機会を多く計画している。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時間を決めないで何時でも来て頂ける様、また外出外泊も自由にして頂き、ご家族との時間を大切に思い支援している。行事にも参加して頂く様案内している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚、友人等の面会にも気軽にきて頂ける雰囲気作りを心掛けている。行事等にも一緒に参加して頂ける様ご家族にお願いしている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションやゲームを通して、出来ない所をお互いに助け合い、支え合える様努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病状悪化で入院や家に帰られ退所されても、面会や訪問をしたりして随時連絡を取っている。亡くなられても案内があり、通夜や葬儀に参列させて頂いている。その後もご家族がお礼の訪問に来て下さる。		
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活歴を知り、どんな暮らし方をしたいかを把握する様にしている。意思表示の困難な場合はご家族に尋ね本人の意に沿える様努めている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族に生活歴、趣味等をお聞きして把握している。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝のバイタルチェックをし、体調に合った生活ができる様一人ひとりの心身状態や活動量を把握する様にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ホームの生活状態を下に本人やご家族等にお聞きして、日々本人らしく生活をして頂く為の介護計画を作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヵ月ごとに見直しをしている。利用者に心身の変化が見られた時は其の都度本人やご家族、職員等と話し合い新たな計画を作成している。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の個別記録に記入したのを下に、職員同士気づき等の情報を共有し、収集してより良い介護が出来る様介護計画の見直しに活かしている。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族に負担をかけない様にホームで受診に行っている。行事等で外出、外泊をされる時にはご家族と利用者の希望をお聞きし、送迎等希望に沿ったサービス提供する様支援している。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事には民生委員さんに声掛けして、ボランティアの要請等の協力をお願いしている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	紹介して下さった居宅介護支援センターや地域連携室、地域包括支援センター他の施設等と連絡を取り合って支援している。	○	現時点では本人、ご家族の意向や必要性が無いので、他のサービスを利用していない。今後意向や必要性があれば利用する為の支援を行いたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性に応じて、地域包括支援センターに相談しアドバイスを頂いている。二ヶ月に一回の運営委員会にも参加して頂き、協力体制を図っている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族がかかりつけ医に受診を希望されるなら、継続して受診して頂くし、ホームの協力病院を希望されるなら紹介状を書いて頂き転移できる様支援している。本人ご家族の希望に沿って代表と看護師で受診の支援をしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ主治医に専門医の紹介をして頂き、状態に合わせた治療が受けられる様支援している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員が日常の健康管理をしている。また協力医院の看護師にも気軽に相談でき、多様面で支援が出来る。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時は度々面会に行き不安の軽減に努め、主治医や看護師に容態を聞いて状態の把握をし、ご家族と相談をしながら早期退院が出来る様に努めている。医療連携室とも情報交換をして頂ける様日頃から多様面で情報交換をしている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時にご家族に重度化し場合の同意書を頂いている。終末期のあり方は機会あるごとに話し合い、早い段階からかかりつけ医とご家族、ホームとで話し合い、不安なく受け入れられる様全員で共有している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の症状をご家族に伝え、かかりつけ医の支持の下、ホームで出来る事と出来ない事の見極めをご家族にも知って頂き、連絡を密にし、決め細やかに症状、バイタルチェックを記録して、変化にいち早く対応出来る様取り組んでいる。		
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人とご家族に状況をお話し、移られてもホームとの情報交換や度々の訪問、面会を行い、不安無く早く慣れて頂く為の協力を努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1．その人らしい暮らしの支援			
( 1 ) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーやプライドを損ねる様な言葉使いには気をつけ、個人を尊重した記録や対応に心がけている。	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の会話の中で思いや希望を言える雰囲気作りに心掛けている。また本人の表情で察知出来る様に信頼関係も作り。我慢しないで納得しながら暮らせる様支援している。	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、押し付けでなく、本人のしたい事、出来る事を選択出来る様配慮している。	
( 2 ) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に理容、美容院に行く人もいるが、希望しない人はホーム内で定期的にホーム長がカットしている。	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を使用し、利用者の好みを聞いて献立を立てている。盛り付けや味付け、食器洗い等を一緒にしている。	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物やおやつ等好みを取り入れ、体調や嚥下状態を把握し、楽しみながら食べれる様支援している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	各居室にトイレがあるので、排泄は各自のトイレに誘導している。一人ひとりの排泄チェック表基に排泄間隔やサインを見逃さない様トイレ誘導を行っている。		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	週三回の入浴日は決めているが、希望に応じ毎日入浴している人もいる。時間帯は決めているが、一人ひとりの希望やタイミングを見て楽しく入浴出来る様支援をしている。体力の無い人はご家族と相談して週二回にしている。		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	一人ひとりの体調、状況に応じて休息して貰っている。		
うたの				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	歌の好きな人にはカセットを聞いて頂いたり、カラオケを準備したり、読書の好きな方には他の利用者に本の読み聞かせや紙芝居を読んで頂いたり、家事が好きな人にはお手伝いをして頂き、一人ひとりが生き生きと楽しみながら生活が出来る様支援している。		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金を所持している方が居られるが、ほとんどの方が管理する事が難しい。一緒に買い物に行った時は支払って頂いている。		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	週に何回となくドライブに行ったり、暖かい日には散歩や買い物に出かけている。		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	ご家族や職員の協力でお花見や遊園地、絵画等の展示会に出かける機会を作っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族に電話を掛けたり、手紙のやり取りの出来る様支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間を決めないで何時でも気軽に訪問して頂ける様にしている。訪問時には一緒に食事やおやつを食べて頂いたり、レクリエーションにも参加して時間が有る限りゆっくりと過ごして頂いている。		
( 4 ) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体的拘束の苦痛禁止を理解しており、身体的拘束はしないケアに取り組んでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけていない。入浴時間帯は入浴を二人体制でしているので手薄の為、ご家族の了解を得、時には内戸に鍵をかける事がある。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はほとんどの利用者がリビングで過ごされている。徘徊の人は目配りを怠らず所在を確認しながら自由に歩いて頂いている。夜間は二時間おきの見回りの他、必要に応じてバイタルチェックをしたり、わずかな音にも対応する様にしている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な危険物は、目に触れない棚や収納箱等に保管し危険を防いでいる。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	機会あるごとにシュミレーションを行い、一人ひとりの状態に合わせた対応が出来る様に取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師の指導の下、訓練を定期的に行っている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の人、職員、利用者と一緒に避難訓練を行い、地域の人々の協力をお願いしている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	常に身体状態をご家族に知って頂いており、一緒に本人に良い方法を考えて頂き、リスクを共有している。		
( 5 ) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックをし、一人ひとりの体調を常に気配りし、体調の変化があった場合は速やかに報告し、状態を見極め早期の受診に努めている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別記録帳に処方箋をつけているので理解している。薬が変わった時は連絡帳に書き、特に症状の変化に注意する様確認を取り合っている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事には食物繊維やきのこ類、海藻類等を取り入れ、水分摂取にも気をつけて便秘予防に努めている。また毎朝のラジオ体操や一日の目標を決め歩行をして頂いている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養面を考え献立をたて、食事、水分摂取チェック表をつけて一人ひとりの状態に合わせて量や食材に気を配り、一日の摂取量を把握している。水分も一日1300ccの摂取を目標に支援している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防の研修会に参加したり、職員、利用者共に予防接種をしている。手洗い消毒やうがい、衣服類のハイター消毒、毎週布団干し、二週間毎のマット干し等をしている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、食器等は食器乾燥機を使用し、毎日まな板や布巾も消毒している。冷蔵庫は週一回掃除をし、食材の期限切れ等を確認している。毎日の買い物により新鮮な食材を使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 土 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには季節ごとの花等を植えている。玄関ホールには手作りの作品や生け花で親しみやすい雰囲気を作っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	吹き抜けの天井に天窗があり、廊下や居室にはガラス瓦を使って自然の光が入ってくる様にしている。リビングには色とりどりの観葉植物があり、心を和ませている。廊下から広々としたウッドデッキに出て日光浴、談話している。各居室毎にトイレがあり安心できる。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づ くり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ウッドデッキにベンチや椅子を置き、日光浴や談話、歩行をしている。和室には掘りごたつがあり思い思いの場所で過ごされている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの物や本人の作品、思い出の品、テレビ等を置かれ、居心地よく過ごされている。ご主人のお位牌を置かれている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	建物が木造土壁で出来ているので嫌な臭いがない。各居室、トイレ、リビング等24時間換気システムが自動的に作動している。エヤコンの温度調節もこまめに行っている。		
( 2 ) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、共有トイレ、居室、居室トイレすべてに手すりをつけ、安全に生活出来る様工夫している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	押し付けでなく、一人ひとりのわかる力を引き出せる場面を作っている。、		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ウッドデッキにベンチや椅子を置き、日光浴や談話をしたり、ボール遊び、歩行をしている。駐車場にはフェンスがありボール遊べをしている。		



. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一人ひとりの自尊心やプライドを傷つけないように、どんな状態になられても人としての尊厳を守り、触れ合いを大事にし不安なく笑顔が出るようなケアを心掛けている。建物は木造土壁の吹く抜け天窓のある平屋建てで、落ち着いた雰囲気の中で生活でき、各居室にトイレと洗面所を設置しているので時間を決めて居室のトイレでの排泄を促し、他の入居者の目に触れることなくいつも清潔で快適に過ごして頂けるように心掛けている。